

グローバルな視点を持ち、新たな価値を創造する人材の育成

西条高校は、平成30年度から5年間、文部科学省が指定するSSH(スーパーサイエンスハイスクール)に選ばれました。新しい時代をたくましく生き、世界に躍進する人材の育成を目標に、生徒の多彩な進路実現を目指します。

Super Science Highschool (スーパーサイエンスハイスクール) って何？

◆文部科学省の指定を受けて、先進的な理数教育に取り組む高校

愛媛県では、松山南高校、宇和島東高校に次いで本校が3校目であり、東予地区では唯一の指定校です。

◆全校生徒が課題研究に取り組む

本校のSSH事業の特徴は、理系に限定せず、生徒全員が対象であることです。課題研究で得た知識や経験は、進路実現にも良い影響を与えています。SSHを経験したR2年度以降の卒業生徒の国立大学推薦入試合格者数(右表)は、SSH前より大きく増加していることがわかります。一般入試合格者数も増加し、SSH前には80名台であった合格者数は、R2年度以降100名を超えるようになりました。

国立大学の総合型及び学校推薦型選抜での進学状況

年度	総合型選抜		学校推薦型選抜	
	総数	理系	総数	理系
R3年度	26	18	42	16
R2年度	33	19	44	20
R1年度	15	7	24	11

◆本物に触れて体験する

1年生の学校独自の科目である「有法子」では、西条市の課題について市の職員をお招きして講演をいただいたり、一緒に考えて意見を出します。2、3年生の課題研究(マルチサイエンスI、II)では、大学、高専や研究機関と協働研究をしたり、企業に取材や助言をいただいたりしながら研究を深めていきます。また、多様な研修を実施し、外部の機関と積極的に連携し、本物に触れる機会を年間を通じて提供していきます。

令和4年度の活動がスタートしています。

◆1年生「防災」「医療」講演会

「防災」の講演会では、想定される自然災害への対策やハザードマップの見方などを教わりました。質疑応答や、考えを話し合う時間など活発に自分の意見を伝える様子が見られました。



◆2年生 課題研究テーマ設定

グループで話し合い、担当の先生のアドバイスを受けて研究テーマを設定しました。一人一台端末を活用して情報収集をしたり、アンケート調査の準備をするなど研究のスタートを切りました。



有法子とは？

方法はある。知恵をだして成せばなる(何事にも積極的に意欲を出せ)



(産経新聞社撮影)

十河信二氏
(本校卒業生、
新幹線の生みの親)

◆3年生 研究発表会

普通科文系では8つの講座に分かれて研究発表会を行いました。発表を時間内にうまくまとめる工夫が見られました。

